

大規模災害に対応するための 自治体連携のあり方

ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究成果報告会

参加費
無料

開催日時▶

平成28年**6月24日(金)** 13時30分~16時30分(13時開場) 定員▶**120名**(先着順)

場 所▶**ラッセホール 2Fローズサローン**(兵庫県神戸市中央区中山手通4-10-8)

スケジュール▶

あいさつ/13:30~13:40

研究報告/13:40~14:00

■災害時における 広域連携支援の考察

神戸大学大学院法学研究科 教授 大西 裕
(平成24年~平成27年度
公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構
政策コーディネーター)

休憩/14:00~14:10

パネルディスカッション/14:10~16:30

第一部:自治体間連携に関する研究報告

- 報告者:待鳥 聡史/京都大学大学院法学研究科 教授
- 曾我 謙悟/京都大学大学院法学研究科 教授
- 善教 将大/関西学院大学法学部 准教授

第二部:大規模災害時における自治体間支援の体制を より機能させるためには

- コーディネーター:神戸大学大学院法学研究科 教授 大西 裕
- パネリスト:大久保 博章/兵庫県防災監・関西広域連合広域防災局長
- 善教 将大/関西学院大学法学部 准教授
- 曾我 謙悟/京都大学大学院法学研究科 教授
- 二上 洋介/宮城県石巻市総務部 次長
- 待鳥 聡史/京都大学大学院法学研究科 教授
- 粹谷 徳彦/和歌山県串本町総務課副課長(防災・防犯グループ長)

ひょうご震災記念21世紀研究機構は、兵庫県のシンクタンクとして、阪神・淡路大震災の経験と教訓を踏まえ再認識された「安全・安心なまちづくり」と「共生社会の実現」を進めるための調査研究と政策提言を行っています。今回のシンポジウムでは、平成24~27年度に実施した研究プロジェクト「災害時における広域連携支援の考察」の研究成果について報告します。

甚大な被害をもたらした東日本大震災はもちろんのこと、このたびの熊本地震においても、遠方自治体による広域支援の重要性に注目が集まっています。そこで、このシンポジウムでは、被災地調査の結果や、アメリカ・台湾といった自治体間連携に関する先進的な取り組みを行う国々との比較の観点より、大規模災害に対応するための有効な自治体間連携のあり方について考えます。また、防災に携わる自治体担当者や学識経験者によるパネルディスカッションを通して、30年以内に70%の確率で起こるといわれる南海トラフ巨大地震にいかに向かい合うべきかについて議論します。奮ってご参加ください。

大規模災害に対応するための自治体連携のあり方

報告者プロフィール



大西 裕 / 神戸大学大学院法学研究科 教授

1965年生まれ 博士(法学)、京都大学

1991年 京都大学大学院法学研究科修士課程修了

1991年 大阪市立大学法学部助手・助教授

現在 神戸大学大学院法学研究科教授

2012年度～2015年度 公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構 政策コーディネーター
著書『先進国・韓国の憂鬱—少子高齢化、経済格差、グローバル化』(中公新書)にて
2014年サントリー学芸賞受賞。

会場案内



ラッセホール

〒650-0004

兵庫県神戸市中央区中山手通4-10-8

電話番号:078-291-1117

●アクセス:JR・阪神元町駅より徒歩8分

お申し込み方法 平成28年6月10日(金)までにお申し込みください

※申し込み期限が過ぎましても、定員になるまで受け付けします。

参加ご希望の方は、FAX・電話・e-mailのいずれかでお申し込みください。

■FAXでお申し込みの方は、下記の欄にご記入の上**078-262-5593**に送付ください。

■電話でお申し込みの方は、**078-262-5570**までお電話ください。

■e-mailでお申し込みの方は、下記欄の内容を、**research@dri.ne.jp**まで送信してください。

ふりがな 名前	所属団体名/役職名	連絡先住所
		〒 TEL/FAX E-mail
		〒 TEL/FAX E-mail
		〒 TEL/FAX E-mail

※ご記入いただいた個人情報は、当機構で適切に管理するとともに当機構の活動に関してのみ使用します。
※定員オーバーになり、ご参加いただけない場合のみご連絡いたします。

公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究調査本部(月～金/9:00～17:45 土・日・祝休み)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 東館6階 電話番号:078-262-5570 e-mail:research@dri.ne.jp